

大阪湾漁場環境速報

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスが大量発生しています。窒素は、陸水等の影響が見られる湾奥部を除き、概ね2 μg-at/L前後の値となっています。

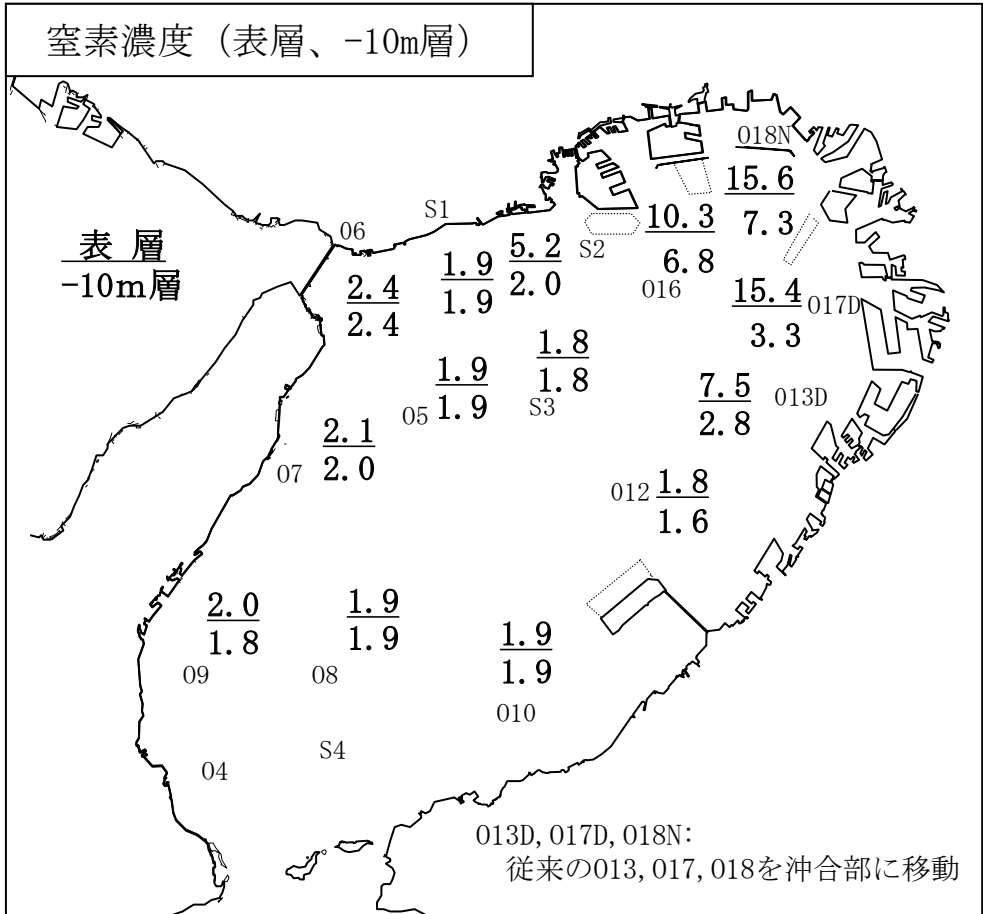
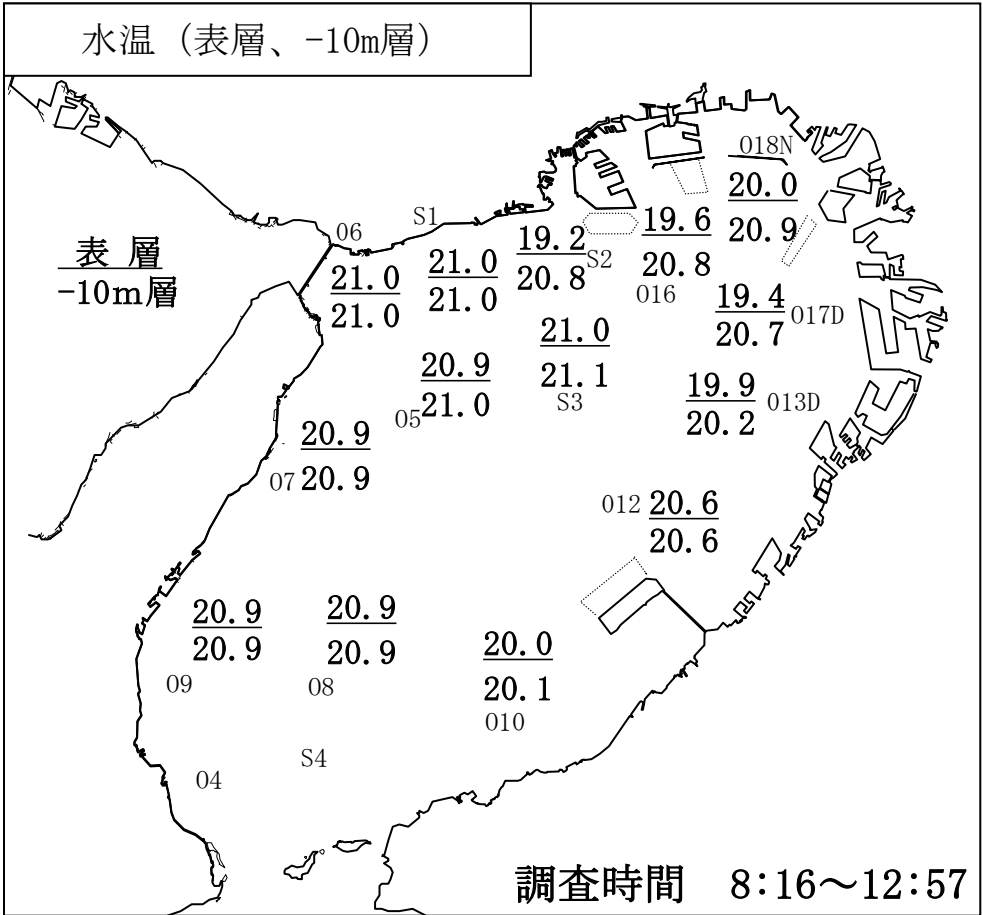
(水温) 表層は湾内19～21℃台で、平均20.7℃(平年比-0.2℃)。-10m層は平均20.8℃(平年比-0.4℃)。
(塩分) 表層平均32.66psu(平年 31.58)。-10m層平均32.77psu(平年 32.19)。
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均2.3 μg-at/L、リンは平均0.38 μg-at/L。窒素は平年(6.6 μg-at/L)、リンは平年(0.61 μg-at/L)とともに平年より低い。-10m層(平均)は、窒素1.9 μg-at/Lで表層よりやや低く、リン0.38 μg-at/Lで表層並。
窒素は、陸水の影響が見られる湾奥部の地点で7 μg-at/L以上、その他の海域では表層・ - 10m層ともに概ね2 μg-at/L 前後の値であった。
湾全域の表層・ - 10m層ともに、大型珪藻コシノディスカスが大量発生しているが、スケルトネマ等の小型珪藻は、ほとんど確認されなかった。

※窒素・リンの平均値は013D、016、017D、018Nを除く。

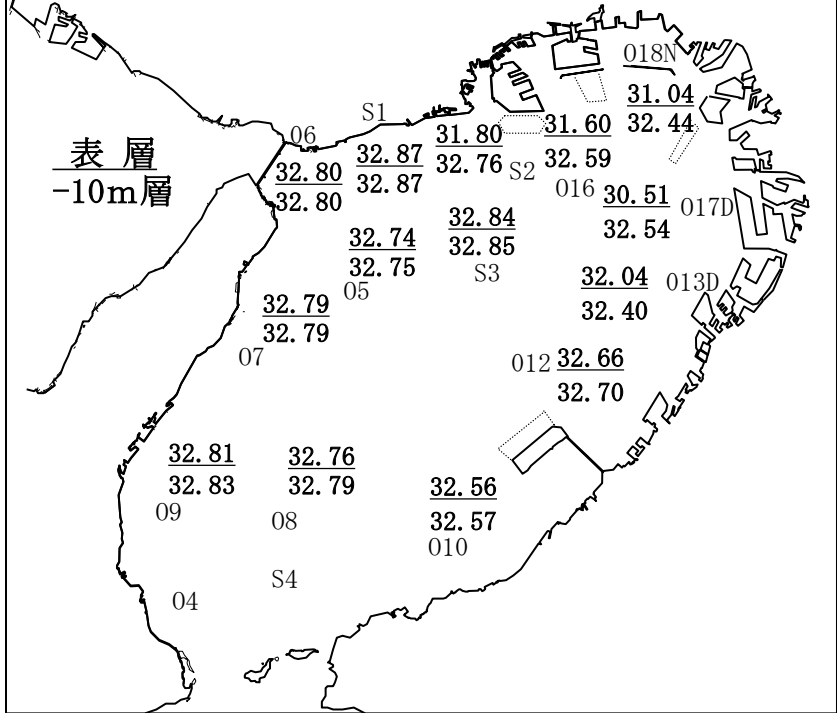
2025年11月12日発行
兵庫のり研究所

上段 (今回値)	2025年11月11日調査
中段 (昨年度)	2024年11月 8日調査
下段 (平年度)	11月上旬

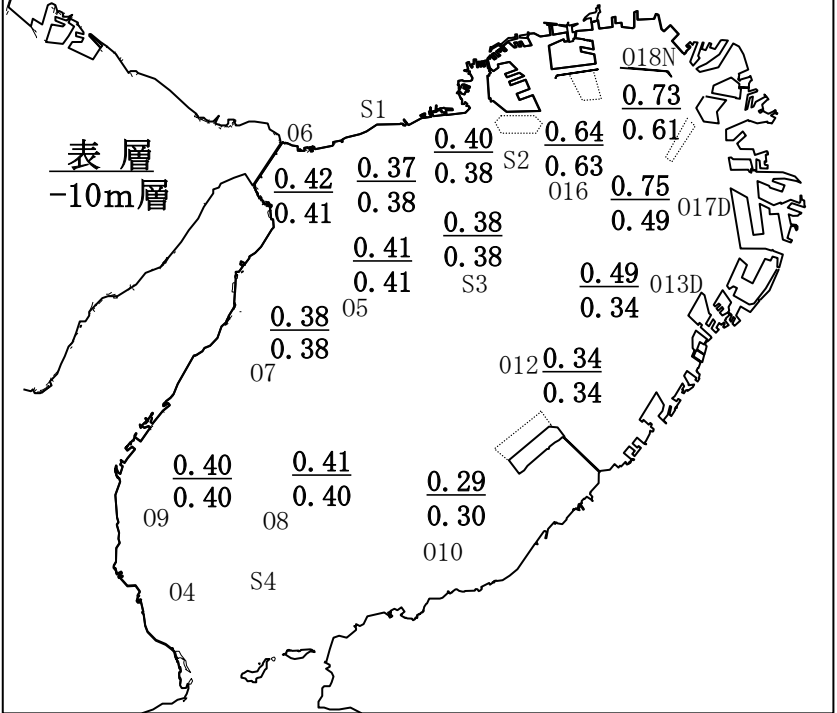
調査地点	水温 (℃)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	リン酸 (μg-at/L)
04				
05	20.9 22.4 21.4	32.74 32.40 32.07	1.9 6.2 6.0	0.41 0.68 0.59
06	21.0 22.3 21.0	32.80 32.27 31.40	2.4 6.2 6.7	0.42 0.67 0.61
07	20.9 21.9 21.3	32.79 32.00 32.05	2.1 6.6 5.9	0.38 0.66 0.81
08	20.9 22.0 21.2	32.76 32.08 32.17	1.9 7.0 5.6	0.41 0.70 0.56
09	20.9 22.0 21.2	32.81 32.31 32.24	2.0 6.4 5.3	0.40 0.63 0.53
010	20.0 21.9 20.7	32.56 32.05 31.77	1.9 7.1 6.6	0.29 0.71 0.61
012	20.6 21.6 20.5	32.66 31.70 31.24	1.8 9.6 7.0	0.34 0.83 0.55
013D	19.9 21.4 20.4	32.04 31.55 31.09	7.5 8.0 8.1	0.49 0.72 0.54
016	19.6 21.0 19.8	31.60 31.49 29.72	10.3 7.3 11.5	0.64 0.67 0.69
017D	19.4 21.5 20.2	30.51 31.51 28.79	15.4 11.0 21.9	0.75 0.87 0.99
018N	20.0 21.5 19.9	31.04 31.57 27.88	15.6 14.6 30.9	0.73 1.07 1.74
S1	21.0 22.3 20.9	32.87 32.35 31.07	1.9 5.9 7.0	0.37 0.68 0.62
S2	19.2 22.3 20.2	31.80 32.41 30.15	5.2 5.9 9.3	0.40 0.67 0.65
S3	21.0 22.4 21.0	32.84 32.36 31.69	1.8 5.8 6.3	0.38 0.68 0.60
S4				



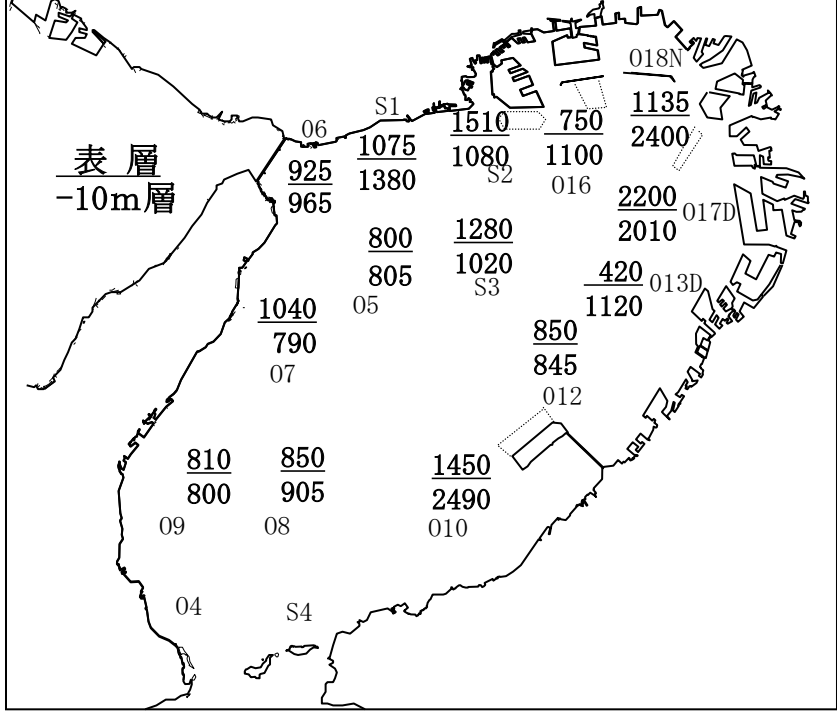
塩分（表層、-10m層）



リン濃度（表層、-10m層）



コシノディスカス（細胞／L）



スケルトネマ（細胞／ml）

